

「ケアマフ」作り方講座 Q&A

かぎ針編み経験者とは、どのくらいのレベルのことですか？	かぎ針編みの編み図を自分で読んで、あみぐるみが作れるくらいのレベルです。
「ケアマフ作りを広める活動」とは、どんなことですか？	個人でお知り合いに「ケアマフ」を作って差し上げたり、グループを作って「ケアマフ」を作り、介護施設や病院に寄付したりする活動です。
ミニサイズの本体は、どのくらいの大きさですか？	実際の本体が30目40段前後のところ、20目で10段程度のものです。あとで見返すことができる見本になる物です。
どんな編み方をするのですか？	サーマルステッチ編みという本体生地が二重になる特殊な編み方です。
なぜあみぐるみがつukれないといけないのですか？	認知症当事者が触れて刺激を受けられるような飾りや、当事者の好きなものを編んで、縫い付けるためです。
どのくらいの太さの糸を使うのですか？	本体は極太です。ジャンボかぎ針8号で編みます。飾りは並太です。通常7号のかぎ針で編みます。
「ケアマフ編む編むサロン」は、必ず出なくてはいけないのですか？	作り方講座に出席した方で、有志の方のみです。

作った「ケアマフ」は、もって帰っていいんですか？

はい。お持ち帰りいただいて、広める活動時の見本などにお使いいただけます。

ご家族に使っていただいても構いません。その際、使った感想などをお寄せいただけるとありがたいです。